

# (参考資料)

# 歯科医師の勤務実態等に関する調査

## 歯科医師調査票（病院用）

厚生労働科学特別研究事業

厚生労働省医政局

2018年11月

### <ご回答される歯科医師の皆さまへ>

○厚生労働省においては、新しい時代にふさわしい歯科保健医療供給体制の構築を目指し、歯科保健医療のあり方や地域連携・病診連携の現状ならびに現在の歯科医師の勤務実態・キャリア意識等を把握するために、本調査を行うこととなりました。

本調査の分析結果は、今後の歯科医療を推進するための歯科医師の働き方を検討するための基礎資料となります。未来の歯科医療をより良いものにするため、ご協力くださいますようお願い致します。

○本調査のデータは、個人が識別される形で集計を行うことはありません。また、皆さまが勤務されている医療機関に、個人が特定される形で調査票・データを提供することはありません。

### <記入にあたっての注意事項>

○貴院にて常勤勤務されている全ての歯科医師の皆様にご回答をお願いします。

なお、複数の医療施設で勤務されている非常勤の歯科医師におかれましては、主たる勤務先でのみ提出するようお願い致します。

○提出にあたっては、添付の提出用封筒にて入れて密封し、職場での取りまとめ者の方にご提出ください。

○同封している調査票が不足した場合は下記の URL に記載する研究班のサイト（QR コード）よりダウンロードしていただき、お手持ちの封筒にてご提出下さい。

ダウンロードサイト：<http://dentistsurvey.umin.jp/>



○ご回答は、当てはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入下さい。

また、鉛筆または黒・青のボールペンでご記入ください。

○本調査票は、職場で取りまとめ者の方に 11月28日（水） までに提出してください。

### <お問い合わせ先>

厚生労働科学特別研究事業「歯科医師の勤務実態等の調査研究班」 事務局

電話番号：0120-225137（受付時間：平日 9：00-17：00、12月14日（金）まで）

◎説明文書（調査へのご協力をお願い）の内容をご確認いただき、下記の□に✓を記入したうえで  
 回答を行ってください。 （確認欄）  説明文書の内容を確認しました

**問1 ご本人の情報（平成30年11月1日現在）についてお答えください。**

① 年齢	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 歳（※）右詰めでご記入ください。
② 性別	01 男性 02 女性
③ 出身歯学部所在地	<input type="text"/> 都・道・府・県
④ 歯学部の卒業年度	西暦 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 年度
⑤ 現在の居住地	<input type="text"/> 都・道・府・県 <input type="text"/> 市・区・町・村
⑥ 出身地 （※）高校等を卒業する前までに過ごした期間が最も長い場所	<input type="text"/> 都・道・府・県（※）外国籍の方は左欄に出身国名をご記入ください）
⑦ 臨床研修の状況	01 臨床研修中ではない 02 臨床研修中である
⑧ 勤務形態（※）○は1つ	01 病院管理者 02 勤務医（常勤） 03 勤務医（非常勤）
⑨ 診療分野 （※）該当するもの全てに○	01 歯科（保存、補綴等を含む） 02 矯正歯科 03 小児歯科 04 歯科口腔外科 05 その他（ ）
⑩ 専門医資格の有無 （※）該当するもの全てに○	01 口腔外科専門医 02 歯周病専門医 03 歯科麻酔専門医 04 小児歯科専門医 05 歯科放射線専門医 06 01～05に該当なし
⑪ 同居家族の有無 （※）該当するもの全てに○	01 配偶者又はパートナー 02 親（配偶者等の親を含む） 03 子ども 04 その他 05 同居者なし

◎下記の⑫・⑬は前問⑪で「01 配偶者又はパートナー」と回答された方のみお答えください。

⑫ 配偶者又はパートナーの職業 （※）○は1つ	01 歯科医師 02 医師 03 歯科衛生士 04 歯科技工士 05 その他の医療職 06 その他 07 無職
⑬ 配偶者又はパートナーの勤務形態 （※）○は1つ	01 常勤 02 非常勤 03 自営 04 無職

**問2 主たる勤務先の診療形態（平成30年11月1日現在）についてお答えください。**

患者への診療形態 （※）○は1つ	01 単独主治医制 02 複数主治医制 03 その他
---------------------	----------------------------

（※）所属されている診療科の診療形態についてお答えください。

（※）単独主治医制：1人の患者につき1人の主治医が担当する場合

複数主治医制：1人の患者につき複数の主治医が担当する場合。勤務時間外に対応が必要となった場合、基本的に当番の医師が対応する体制を取っている場合も含まれます。

問3 主たる勤務先と、(もしあれば)その他の勤務先における10月の勤務状況についてお答えください。

① 10月の勤務日数、当直 (日直・宿直)・オンコール回数		勤務日数	当直(日直)		
			日直	宿直	オンコール
	主たる勤務先	日	日	日	日
	その他の勤務先	日	日	日	日
(※)勤務日数は、1時間でも働けば1日と換算してください。 (※)当直は、通常の勤務時間とは別に、院内に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う勤務であり、そのうち、日直は昼間の時間帯、宿直は夜間の時間帯に行うものをお答えください。 (※)オンコールは、通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う勤務をお答え下さい。ただし、実際に患者に対して診療等の対応を行ったかどうかは問いません。					
② 主たる勤務先での訪問歯科診療の担当状況	歯科訪問診療料の算定回数		回		
(※)10月1か月間の診療報酬上の算定回数をご記入ください。					
③ 2017年(昨年)に取得した年次有給休暇の日数 (※)〇は1つ	01 取得していない	02 1~5日	03 6~10日		
	04 11~15日	05 16日以上			

〔◎管理者以外の勤務医の方のみ、問4~問7にお答えください。〕  
 ◎管理者の方は次頁の問8へお進みください。

問4 現在、大学の医局に所属していますか？ 所属していない場合、今後、所属する予定はありますか？

(※)異動や労働条件の決定など、人事上の重要な事項について、大学の医局(またはそれに近い組織)が影響を及ぼしている場合について、医局に所属しているとみなします。

- 01 所属している  
 02 所属していないが、今後所属する予定である  
 03 所属しておらず、今後所属する予定もない

問5 今後のキャリアとして、次のうちどれを希望しますか？ 次の【選択肢】より第1希望、第2希望をお答えください。

選択肢

- 01 臨床(勤務)                      02 臨床(開業)                      03 行政職(地方・中央機関を含む)  
 04 研究教育(大学や研究機関)      05 その他( )

第1希望の番号

第2希望の番号

問6 今後、東京都23区及び政令指定都市、県庁所在地等の都市部以外で勤務する意思がありますか？

- 01 ある(⇒問8へ)                      02 ない(⇒問7へ)

問7 都市部以外で勤務する意思がない理由を、次の【選択肢】より1位から3位までお答えください。

選択肢

- 01 希望する内容の仕事を継続するため                      02 経済的理由(収入・待遇)のため  
 03 医局の人事等の関係もあり選択の余地がないため  
 04 労働環境に不安があるため                      05 子どもの教育環境が整っていないため  
 06 家族の理解が得られないため                      07 両親等親族の介護のため  
 08 その他( )

第1位の番号

第2位の番号

第3位の番号

☆ 育児の状況についてお伺いします。

問8 これまで育児の経験はありますか？ (※) 男女ともにご記入下さい。

- 01 経験がある (⇒ 問9～問14へ)                      02 経験がない (⇒ 問17へ)

〔◎問8で「01 経験がある」と回答された方は、問9～問14にお答えください。  
◎問8で「02 経験がない」と回答された方は、次頁の問17にお進みください。〕

問9 ご自身もしくは配偶者又はパートナーの方が産前産後休暇を取得した経験はありますか？

- 01 自分が取得した                      02 配偶者が取得した                      03 どちらも取得したことがない

問10 育児を最も中心的に行った(行っている)方をお答えください。(※) 直近の育児経験についてお答えください。

- 01 自分                      02 配偶者又はパートナー                      03 親族                      04 その他

問11 保育所を利用した(利用している)経験はありますか？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 認可保育所を利用                      02 無認可保育所を利用                      03 どちらも利用したことがない

問12 未就学児の育児中(育児休業中を除く)の実際の働き方はどうか(どうされていますか)？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 子育て前と変化なし                      02 時間短縮勤務(1日\_\_\_\_時間程度勤務)  
03 勤務日数減(週\_\_\_\_日勤務)                      04 業務内容軽減  
05 研究生・大学院生                      06 休職・離職

問13 未就学児の育児中(育児休業中を除く)にあなたが希望した(する)働き方はどのようなものでしたか(ですか)？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 子育て前と変化なし                      02 時間短縮勤務(1日\_\_\_\_時間程度勤務)  
03 勤務日数減(週\_\_\_\_日勤務)                      04 業務内容軽減  
05 研究生・大学院生                      06 休職・離職

問14 育児休業を取得しましたか？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 自分が取得した (⇒ 問17へ)                      02 配偶者又はパートナーが取得した (⇒ 問17へ)  
03 取得せずに勤務継続した (⇒ 問17へ)  
04 取得せずに自分が離職した (⇒ 問15へ)                      05 取得せずに配偶者又はパートナーが離職した (⇒ 問15へ)

〔◎問14で「04 取得せずに自分が離職した」又は「05 取得せずに配偶者が離職した」と回答された方は、問15にお答えください。  
◎上記以外の方は、次頁の問17にお進みください。〕

問15 勤務の継続を希望されていましたか？

- 01 希望していた (⇒ 問16へ)                      02 希望していなかった (⇒ 問17へ)

問16 どのような取り組みがあれば、離職せずに勤務を継続できる、あるいは勤務を継続できたと思いますか？ 最も有効と思われる取り組みを、次の【選択肢】より1位から3位までお答え下さい。

**選択肢**

- 01 院内保育施設の設置・充実                      02 ベビーシッター費用の所得控除  
03 育児休業給付金の増額                      04 給与の増加  
05 育児休業の取得                      06 必要時に勤務を交替してくれる人員の確保  
07 有給休暇の取得促進                      08 他職種との分担による業務負担軽減  
09 時間外業務の縮減                      10 短時間勤務の推進

第1位の番号

第2位の番号

第3位の番号

☆ 介護の状況についてお伺いします。

問17 これまで在宅での介護の経験はありますか？

- 01 経験がある (⇒ 問18～問21へ)                      02 経験がない (⇒ 問24へ)

〔◎問17で「01 経験がある」と回答された方は、問18～問21にお答えください。〕  
〔◎問17で「02 経験がない」と回答された方は、次頁の問24にお進みください。〕

問18 介護を最も中心的に行った(行っている)方をお答えください。(※)直近の在宅介護経験についてお答えください。

- 01 自分                      02 配偶者又はパートナー                      03 親族                      04 その他

問19 介護中(介護休業中を除く)の実際の働き方はどうでしたか(どうされていますか)? 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 介護前と変化なし                      02 時間短縮勤務(1日\_\_\_\_時間程度勤務)  
03 勤務日数減(週\_\_\_\_日勤務)                      04 業務内容軽減  
05 研究生・大学院生                      06 休職・離職

問20 介護中(介護休業中を除く)にあなたが希望した(する)働き方はどのようなものでしたか(ですか)? 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 介護前と変化なし                      02 時間短縮勤務(1日\_\_\_\_時間程度勤務)  
03 勤務日数減(週\_\_\_\_日勤務)                      04 業務内容軽減  
05 研究生・大学院生                      06 休職・離職

問21 介護休業を取得しましたか? 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 自分が取得した (⇒ 問24へ)                      02 配偶者又はパートナーが取得した (⇒ 問24へ)  
03 取得せずに勤務継続した (⇒ 問24へ)  
04 取得せずに自分が離職した (⇒ 問22へ)                      05 取得せずに配偶者又はパートナーが離職した (⇒ 問22へ)

〔◎問21で「04 取得せずに自分が離職した」又は「05 取得せずに配偶者が離職した」と回答された方は、問22にお答えください。〕  
〔◎上記以外の方は、次頁の問24にお進みください。〕

問22 勤務の継続を希望されていましたか?

- 01 希望していた (⇒ 問23へ)                      02 希望していなかった (⇒ 問24へ)

問23 どのような取り組みがあれば、離職せずに勤務を継続できる、あるいは勤務を継続できたと思いますか? 最も有効と思われる取り組みを、次の【選択肢】より1位から3位までお答え下さい。

**選択肢**

- 01 院内介護施設の設置・充実                      02 ヘルパー費用の所得控除  
03 介護休業給付金の増額                      04 給与の増加  
05 介護休業の取得                      06 必要時に勤務を交替してくれる人員の確保  
07 有給休暇の取得促進                      08 他職種との分担による業務負担軽減  
09 時間外業務の縮減                      10 短時間勤務の推進

第1位の番号

第2位の番号

第3位の番号

☆ 実際の勤務の状況について記録をお願いいたします。

問24 11月15日(木)～11月21日(水)の労働時間について、下記の注意事項・用語の定義・記入例を参考に、次頁の表に記入してください。  
 11月21日(水)については、問25・問26に関連した設問がありますので、予めご確認ください。

**注意事項**

- ・主たる勤務先だけでなく、その他の勤務先の労働時間についても併せて記入ください。
- ・「勤務日」「休日」のうち、該当するもの一つに○を付けてください。
- ・労働時間は30分単位で記入してください。30分に満たない場合は、その30分で最も多くの時間を費やした領域を選んで記入してください。
- ・「院内診療」には、(外勤先があればそれも含めて)外来診療、入院診療に従事した時間を矢印で記入してください。ケースカンファレンス等の診療に関する打ち合わせも含んで下さい。
- ・「訪問診療」には、院外での在宅歯科診療や高齢者施設での歯科診療に従事(準備及び移動を含む)時間を矢印で記入してください。
- ・「教育」には、研修歯科医等の他の歯科医師、歯科衛生士や事務職員等の他職種への教育やその準備に費やした時間を矢印で記入して下さい。なお、研修歯科医にご自身の診療を見学させていた場合は、「教育」ではなく、「院内診療」もしくは「訪問診療」に、その時間を矢印で記入して下さい。
- ・「研究・自己研修」には、実験や調査、論文執筆等に費やした時間や、学習(例：歯学雑誌や歯学書・eラーニング等に目を通す)や研修(例：スタディグループや講習会・講演会・説明会等への参加)のために費やした時間を矢印で記入して下さい。また、研究に伴う事務作業やカンファレンスの時間も「研究・自己研修」の時間と考えて下さい。
- ・「会議・管理業務等」には、院内での会議や管理業務(診察に直接関係のない会議や委員会への参加、経営・人事に関する業務)ならびに院外(歯科医師会・行政等での会議等)に費やした時間を矢印でご記入下さい。

《用語の定義》

**休日** 一日を通して通常の勤務が課せられていない日。

**休憩** 業務を行わず、食事や休養等に費やした時間で、診療・診療外のいずれにも含めない。

《記入例》

◎調査日が「勤務日」の場合

- ・院内診療 : 08:30 - 10:30
- ・訪問診療 : 14:30 - 16:30 (※) 訪問診療には、その準備時間と移動時間も含まれます。
- ・教育 : 10:30 - 12:00
- ・研究・自己研修 : 18:30 - 19:30
- ・会議管理業務 : 13:00 - 14:30

		6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00																							
勤務日・休日	院内診療	←→																							
	訪問診療	←→																							
	教育	←→																							
	研究・自己研修	←→																							
	会議・管理業務等	←→																							

どちらかに○をつける

休憩(12:00-13:00)は矢印を記入しない

## 11月15日 (木)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

## 11月16日 (金)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

## 11月17日 (土)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

## 11月18日 (日)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

# 11月19日 (月)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

# 11月20日 (火)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

# 11月21日 (水)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

◎問25・問26は11月21日（水）が勤務日だった方にお伺いします。勤務日ではなかった方は問27にお進みください。

問25 次の①～④の院内各業務のうち、（1）11月21日（水）の1日に各業務に費やした時間と、（2）現在自分で行っている業務量を100%としたときに他職種（歯科衛生士や事務職員等の他職種）に分担可能と考える割合についてお答えください。

	(1) 11/21（水）に費やした時間	(2) 他職種に分担可能と考える割合
① 患者・家族への説明	%	%
② 予防処置・歯科保健指導	%	%
③ 医療記録（診療録の記載等）	%	%
④ 医療事務（診療情報提供書等の作成、レセコンの入力等）	%	%

問26 11月21日（水）に担当した患者数について、お答えください。

歯科外来担当患者数	人
（うち）医科からの紹介もしくは医科への紹介を行い治療した患者数	人
歯科訪問診療担当患者数	人

問27 現在の働き方を基準として、今後、どのような働き方を希望しますか？1週間当たりの勤務日数の増減についての希望をお答えください。

プラス（増加）、現状維持、マイナス（減少）のいずれかに○をつけて下さい。また、勤務日数の増加もしくは減少を希望される場合は、その希望日数を併せてご記入下さい。

01 プラス_____日程度	02 現状維持	03 マイナス_____日程度
----------------	---------	-----------------

◎ 最後に、歯科医師の働き方についてのご意見をご自由にご記入ください。

設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

添付の封筒にて密封し、11月28日（水）までに職場の取りまとめ者までご提出ください

# 歯科医師の勤務実態等に関する調査

## 医療施設調査票（病院用）

厚生労働科学特別研究事業

厚生労働省医政局

2018年11月

### <ご回答される管理者の先生方>

○厚生労働省においては、新しい時代にふさわしい歯科保健医療供給体制の構築を目指し、病院における歯科保健医療のあり方や地域連携・病診連携の現状等を把握し、現在の歯科医師の勤務実態・キャリア意識を正しく把握するために、本調査を行うこととなりました。本調査の分析結果は、今後の歯科医療を推進するための歯科医師の働き方を検討するための基礎資料となります。未来の歯科医療をより良いものにするため、ご協力くださいますようお願い致します。

○本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。

### <記入にあたっての注意事項>

○ご回答は、当てはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入ください。

○ご記入は鉛筆または黒・青のボールペンでお願いします。

○本調査票は、貴施設の歯科医師票とともに、同封の返信用封筒に入れて、11月30日（金）までに投函してください。

### <お問い合わせ先>

厚生労働科学特別研究事業「歯科医師の勤務実態等の調査研究班」 事務局

電話番号：0120-225137（受付時間：平日 9：00-17：00、12月14日（金）まで）

◎説明文書（調査へのご協力のお願い）の内容をご確認いただき、下記の□に✓を記入したうえで回答を行ってください。 （確認欄）  説明文書の内容を確認しました

問1 貴施設の情報についてお答えください。

① 貴施設の所在都道府県	<input style="width: 150px; height: 25px;" type="text"/>	都・道・府・県
② 該当する二次医療圏	<input style="width: 150px; height: 25px;" type="text"/>	医療圏
③ 貴施設の開設主体 (※) 02の場合、[ ]内にも○をつけてください。	01 国 ⇒ [ ア 国立大学法人 イ 国立大学法人以外の法人 ] 02 公的医療機関 ⇒ [ ア 都道府県 イ 市町村 ウ 公立大学法人 エ 日赤・済生会 オ 厚生連 カ ア〜オ以外の法人 ]  03 社会保険関係団体    04 公益法人    05 医療法人 06 学校法人    07 社会福祉法人    08 医療生協 09 株式会社    10 その他の法人    11 個人	
④ 貴施設の病床数	許可病床数 (                    ) 床 (うち) 歯科病床数 (                    ) 床	
⑤ 貴施設の病床機能区分 (※) 該当するもの全てに○	01 高度急性期    02 急性期    03 回復期    04 慢性期	
⑥ 貴施設の平均在院日数	平均在院日数 (                    ) 日/人 (※) 平成29年4月1日～平成30年3月31日までの1年間の平均でお答えください。	
⑦ 貴施設の歯科入院患者数 (※) 平成30年11月1日時点	歯科入院患者数 (                    ) 人	
⑧ 歯科医師臨床研修施設の指定 (※) 平成30年11月時点 (※) 研修協力施設は含みません。	01 ある                    02 ない	
⑨ 地域歯科診療支援病院の届出 (※) 平成30年11月時点	01 ある                    02 ない	
⑩ 歯科口腔外科にて全身麻酔下(日帰り手術を除く)で手術を実施した患者数	手術数 (                    ) 件 (※) 平成29年度に歯科口腔外科で実施したのべ患者数を記載してください。歯科点数表の「第9部手術」(医科点数表の「第10部手術」を準用した場合も含む。)に掲げる手術を実施した患者数をお答えください。	
⑪ 貴施設の周術期(歯科のみ、医科病棟を含む)対応	01 ある                    02 ない	
⑫ 貴施設の歯科診療台数	歯科診療台数 (                    ) 台	
⑬ 貴施設の歯科外来・救急患者数	歯科外来患者数 延べ(                    ) 人 (うち) 時間外 延べ(                    ) 人 (うち) 院内患者 延べ(                    ) 人 (医科からの紹介を含む) (※) 平成30年10月の1か月間の延べ人数でお答えください。	
⑭ 歯科患者の紹介率	歯科患者の紹介率 (                    ) % (※) 平成30年7～9月の3か月間の実績をお答えください。	
⑮ 障がい者歯科診療の対応	01 ある                    02 ない	

問2 貴施設に従事する歯科医師及び関連職種についてお答えください（平成30年11月1日現在）。

① 貴施設の歯科医師数 (常勤・非常勤・臨床研修歯科医) (※) 管理者も含めてご記入ください。 (※) いない場合は「0」人とお答えください。		常勤 (実人員)	非常勤 (実人員)	非常勤 (常勤換算)	臨床研修歯科医 (実人員)
	男性歯科医師	人	人	人	人
	女性歯科医師	人	人	人	人
(※) 雇用形態に関わらず、貴施設が定める1週間の勤務時間(所定労働時間)の全てを勤務している場合は「常勤」、勤務していない場合は「非常勤」としてお答えください。 (※) 非常勤歯科医師の常勤換算の算出については、非常勤歯科医師の1週間の勤務延べ時間数(残業は除く)を、貴施設において常勤の歯科医師が勤務すべき1週間の時間数(所定労働時間)で割り、小数点以下第2位を四捨五入してください。					
② 非常勤の歯科医師の勤務先 (※) 該当するもの全てに○	01 大学・大学病院    02 大学病院以外の病院    03 他の歯科診療所 04 その他                    05 貴施設以外なし				
③ 採用・離職した歯科医師数 (※) 平成29年4月～平成30年3月の1年間の数をお答えください。 (※) いない場合は「0」人とお答えください。			男性	女性	
	採用者数	常勤歯科医師	人	人	
		非常勤歯科医師	人	人	
	離職者数	常勤歯科医師	人	人	
(うち) 定年退職者		人	人		
	非常勤歯科医師	人	人		
④ 歯科部門のスタッフ数(常勤換算) (※) いない場合は「0」人とお答えください。	看護職員		歯科衛生士		歯科技工士
	言語聴覚士		管理栄養士		その他
	(※) 非常勤職員の常勤換算の算出については、非常勤歯科医師の1週間の勤務延べ時間数(残業は除く)を、貴施設において常勤の歯科医師が勤務すべき1週間の時間数(所定労働時間)で割り、小数点以下第2位を四捨五入してください。				

問3 貴施設において、現在実施されている歯科医師が仕事と家庭生活とを両立しながら働き続けるための取り組みについて全てお答えください。

01 完全休日の設定	02 勤務時間インターバル制度の導入
03 有給休暇の取得促進	04 時間外業務の縮減
05 育児・介護休業の取得や短時間勤務等が昇給・昇進に影響しない仕組み	
06 必要時に勤務を交替してくれる人員の確保	07 短時間勤務の推進
08 その他( )	09 特になし

問4 貴施設には歯科医師が利用できる保育所または託児所がありますか？

01 ある(⇒問5・問6へ)	02 ない(⇒問6へ)
----------------	-------------

〔◎ 問4で「01 ある」と回答された施設は問5及び問6にお答えください。〕  
 〔◎ 問4で「02 ない」と回答された施設は問6をお答えください。〕

問5 貴施設の保育所または託児所の平日の保育時間をお答えください。(時刻は24時間制でご記入ください。)

	時		分	～		時		分
--	---	--	---	---	--	---	--	---

(※) 曜日によって保育時間帯が異なる場合は、最も長い保育実施曜日の時間帯を記入してください。

問6 貴施設において、平成29年4月～平成30年3月の1年間に、以下の表のそれぞれの休業・勤務形態を取得・実施した歯科医師の人数をお答えください。(※) いない場合は「0」人とお答えください。

	男性歯科医師	女性歯科医師
産前・産後休業を取得		人
育児休業を取得	人	人
介護休業を取得	人	人
短時間勤務を実施	人	人

問7 歯科医師の確保・定着に関する以下の取組のうち、貴施設で実施しているものを全てお答えください。

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 01 大学医局との連携         | 02 常勤歯科医師の公募採用   |
| 03 施設外での技術研修・留学等の支援 | 04 幹部職員としての採用    |
| 05 給与の増額            | 06 職員用住居の整備      |
| 07 退職後の再就業の推進       | 08 人材派遣会社を活用した募集 |
| 09 その他 ( )          | 10 特になし          |

問8 貴施設において歯科地域医療への貢献の観点から、実施されていることがありましたら、全てお答えください。

- |                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 01 患者・住民向けの講演会              | 02 自治体の健診等の受け入れ |
| 03 医療・介護職向けの講演会             | 04 地域ケア会議等の出席   |
| 05 訪問歯科診療                   | 06 介護認定審査会の出席   |
| 07 健診・予防活動への歯科医師の派遣（学校歯科含む） |                 |
| 08 その他 ( )                  | 09 特になし         |

問9 歯科医師の勤務管理にタイムカード（もしくは、それに準じるソフトウェア）を使用されていますか？

- |              |                          |
|--------------|--------------------------|
| 01 既に使用している  | 02 現在は使用していないが、近々導入予定である |
| 03 導入する予定はない |                          |

問10 貴施設では、歯科医師の時間外労働に係る労働基準法の36（サブロク）協定を締結していますか？

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 01 締結している（⇒問10-1へ）  | 02 現在は締結していないが、近々締結予定である |
| 03 該当しないため、締結の予定はない | 04 36協定についてよく知らない        |
| 05 その他 ( )          |                          |

（※）36協定：労働基準法36条に基づき、時間外または休日の労働等について、労使間で締結する協定書のことです。法定労働時間を超える時間外労働を命じる場合、労働組合（労働組合がない場合は労働者の過半数を代表する者）との間で書面による協定を結び、労働基準監督署に届け出ることが義務づけられています。

詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください ⇒ [https://www.startup-roudou.mhlw.go.jp/36\\_pact.html](https://www.startup-roudou.mhlw.go.jp/36_pact.html)

▶問10-1 貴施設では、労働基準法の36協定の特別条項での勤務時間延長を設定されていますか？

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 01 設定している          | 02 現在は設定していないが、近々設定予定である |
| 03 該当しないため、設定予定はない | 04 その他 ( )               |

◎ 最後に、歯科医師の働き方についてのご意見をご自由にご記入ください。

設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、回収した歯科医師票とともに11月30日（金）までに投函してください。

# 歯科医師の勤務実態等に関する調査

## 歯科医師調査票（歯科診療所用）

厚生労働科学特別研究事業

厚生労働省医政局

2018年11月

### ＜ご回答される歯科医師の皆さまへ＞

○厚生労働省においては、新しい時代にふさわしい歯科保健医療供給体制の構築を目指し、歯科保健医療のあり方や地域連携・病診連携の現状ならびに現在の歯科医師の勤務実態・キャリア意識等を把握するために、本調査を行うこととなりました。

本調査の分析結果は、今後の歯科医療を推進するための歯科医師の働き方を検討するための基礎資料となります。未来の歯科医療をより良いものにするため、ご協力くださいますようお願い致します。

○本調査のデータは、個人が識別される形で集計を行うことはありません。また、皆さまが勤務されている医療機関に、個人が特定される形で調査票・データを提供することはありません。

### ＜記入にあたっての注意事項＞

○貴院にて常勤勤務されている全ての歯科医師の皆様にご回答をお願いします。

なお、複数の医療施設で勤務されている非常勤の歯科医師におかれましては、主たる勤務先でのみ提出するようお願い致します。

○提出にあたっては、添付の提出用封筒にて入れて密封し、職場での取りまとめ者の方にご提出ください。

○管理者の先生におかれましては、お手数をおかけしますが、この歯科医師調査票に加えて、別添の歯科医療施設調査票にもご記入下さい。

○歯科医師調査票は 3 部同封しておりますが、不足した場合は下記の URL に記載する研究班のサイト（QR コード）よりダウンロードしていただき、お手持ちの封筒にてご提出下さい。

ダウンロードサイト：<http://dentistsurvey.umin.jp/>



○ご回答は、当てはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入下さい。

また、鉛筆または黒・青のボールペンでご記入ください。

○本調査票は、職場で取りまとめ者の方に 11月28日（水） までに提出してください。

### ＜お問い合わせ先＞

厚生労働科学特別研究事業「歯科医師の勤務実態等の調査研究班」 事務局

電話番号：0120-225137（受付時間：平日 9：00-17：00、12月14日（金）まで）

◎説明文書（調査へのご協力をお願い）の内容をご確認いただき、下記の□に✓を記入したうえで回答を行ってください。 (確認欄) □ 説明文書の内容を確認しました

問1 ご本人の情報（平成30年11月1日現在）についてお答えください。

① 年齢	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 歳（※）右詰めでご記入ください。
② 性別	01 男性 02 女性
③ 出身歯学部所在地	<input type="text"/> 都・道・府・県
④ 歯学部の卒業年度	西暦 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 年度
⑤ 現在の居住地	<input type="text"/> 都・道・府・県 <input type="text"/> 市・区・町・村
⑥ 出身地 （※）高校等を卒業する前までに過ごした期間が最も長い場所	<input type="text"/> 都・道・府・県（※）外国籍の方は左欄に出身国名をご記入ください
⑦ 臨床研修の状況	01 臨床研修中ではない 02 臨床研修中である
⑧ 勤務形態（※）○は1つ	01 管理者 02 勤務医（常勤） 03 勤務医（非常勤）
⑨ 診療分野 （※）該当するもの全てに○	01 歯科（保存、補綴等を含む） 02 矯正歯科 03 小児歯科 04 歯科口腔外科
⑩ 専門医資格の有無 （※）該当するもの全てに○	01 口腔外科専門医 02 歯周病専門医 03 歯科麻酔専門医 04 小児歯科専門医 05 歯科放射線専門医 06 01～05に該当なし
⑪ 同居家族の有無 （※）該当するもの全てに○	01 配偶者又はパートナー 02 親（配偶者等の親を含む） 03 子ども 04 その他 05 同居者なし

◎下記の⑫・⑬は前問⑪で「01 配偶者又はパートナー」と回答された方のみお答えください。

⑫ 配偶者又はパートナーの職業 （※）○は1つ	01 歯科医師 02 医師 03 歯科衛生士 04 歯科技工士 05 その他の医療職 06 その他 07 無職
⑬ 配偶者又はパートナーの勤務形態 （※）○は1つ	01 常勤 02 非常勤 03 自営 04 無職

問2 主たる勤務先の診療形態（平成30年11月1日現在）についてお答えください。

患者への診療形態 （※）○は1つ	01 単独主治医制 02 複数主治医制 03 その他
---------------------	----------------------------

（※）所属されている診療科の診療形態についてお答えください。

（※）単独主治医制：1人の患者につき1人の主治医が担当する場合

複数主治医制：1人の患者につき複数の主治医が担当する場合。勤務時間外に対応が必要となった場合、基本的に当番の医師が対応する体制を取っている場合も含まれます。

問3 主たる勤務先と、(もしあれば)その他の勤務先における10月の勤務状況についてお答えください。

① 10月の勤務日数 (※)勤務日数は、1時間でも働けば1日と換算してください。	主たる勤務先： <input type="text"/> 日	その他の勤務先： <input type="text"/> 日
② 主たる勤務先での訪問歯科診療の担当状況 (※)10月の1か月間の診療報酬上の算定回数をご記入ください。	歯科訪問診療料の算定回数 <input type="text"/> 回	
③ 2017年(昨年)に取得した年次有給休暇の日数 (※)〇は1つ	〇1 取得していない    〇2 1～5日    〇3 6～10日 〇4 11～15日    〇5 16日以上	

◎管理者以外の勤務医の方のみ、問4～問7にお答えください。  
 ◎管理者の方は次頁の問8へお進みください。

問4 現在、大学の医局に所属していますか？ 所属していない場合、今後、所属する予定はありますか？

(※)異動や労働条件の決定など、人事上の重要な事項について、大学の医局(またはそれに近い組織)が影響を及ぼしている場合について、医局に所属しているとみなします。

- 〇1 所属している  
 〇2 所属していないが、今後所属する予定である  
 〇3 所属しておらず、今後所属する予定もない

問5 今後のキャリアとして、次のうちどれを希望しますか？ 次の【選択肢】より第1希望、第2希望をお答えください。

選択肢

- 〇1 臨床(勤務)    〇2 臨床(開業)    〇3 行政職(地方・中央機関を含む)  
 〇4 研究教育(大学や研究機関)    〇5 その他( )

第1希望の番号

第2希望の番号

問6 今後、東京都23区及び政令指定都市、県庁所在地等の都市部以外で勤務する意思がありますか？

- 〇1 ある(⇒問8へ)    〇2 ない(⇒問7へ)

問7 都市部以外で勤務する意思がない理由を、次の【選択肢】より1位から3位までお答えください。

選択肢

- 〇1 希望する内容の仕事を継続するため    〇2 経済的理由(収入・待遇)のため  
 〇3 医局の人事等の関係もあり選択の余地がないため  
 〇4 労働環境に不安があるため    〇5 子どもの教育環境が整っていないため  
 〇6 家族の理解が得られないため    〇7 両親等親族の介護のため  
 〇8 その他( )

第1位の番号

第2位の番号

第3位の番号

☆ 育児の状況についてお伺いします。

問8 これまで育児の経験はありますか？ (※) 男女ともにご記入下さい。

- 01 経験がある (⇒ 問9～問14へ)                      02 経験がない (⇒ 問17へ)

〔◎問8で「01 経験がある」と回答された方は、問9～問14にお答えください。  
◎問8で「02 経験がない」と回答された方は、次頁の問17にお進みください。〕

問9 ご自身もしくは配偶者又はパートナーの方が産前産後休暇を取得した経験はありますか？

- 01 自分が取得した                      02 配偶者が取得した                      03 どちらも取得したことがない

問10 育児を最も中心的に行った (行っている) 方をお答えください。 (※) 直近の育児経験についてお答えください。

- 01 自分                      02 配偶者又はパートナー                      03 親族                      04 その他

問11 保育所を利用した (利用している) 経験はありますか？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 認可保育所を利用                      02 無認可保育所を利用                      03 どちらも利用したことがない

問12 未就学児の育児中 (育児休業中を除く) の実際の働き方はどうでしたか (どうされていますか) ？  
当てはまるものを全てお答えください。

- 01 子育て前と変化なし                      02 時間短縮勤務 (1日 \_\_\_\_\_ 時間程度勤務)  
03 勤務日数減 (週 \_\_\_\_\_ 日勤務)                      04 業務内容軽減  
05 研究生・大学院生                      06 休職・離職

問13 未就学児の育児中 (育児休業中を除く) にあなたが希望した (する)働き方はどのようなものでしたか (ですか) ？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 子育て前と変化なし                      02 時間短縮勤務 (1日 \_\_\_\_\_ 時間程度勤務)  
03 勤務日数減 (週 \_\_\_\_\_ 日勤務)                      04 業務内容軽減  
05 研究生・大学院生                      06 休職・離職

問14 育児休業を取得しましたか？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 自分が取得した (⇒ 問17へ)                      02 配偶者又はパートナーが取得した (⇒ 問17へ)  
03 取得せずに勤務継続した (⇒ 問17へ)  
04 取得せずに自分が離職した (⇒ 問15へ)                      05 取得せずに配偶者又はパートナーが離職した (⇒ 問15へ)

〔◎問14で「04 取得せずに自分が離職した」又は「05 取得せずに配偶者が離職した」と回答された方は、問15にお答えください。  
◎上記以外の方は、次頁の問17にお進みください。〕

問15 勤務の継続を希望されていましたか？

- 01 希望していた (⇒ 問16へ)                      02 希望していなかった (⇒ 問17へ)

問16 どのような取り組みがあれば、離職せずに勤務を継続できる、あるいは勤務を継続できたと思いますか？ 最も有効と思われる取り組みを、次の【選択肢】より1位から3位までお答え下さい。

**選択肢**

- 01 院内保育施設の設置・充実                      02 ベビーシッター費用の所得控除  
03 育児休業給付金の増額                      04 給与の増加  
05 育児休業の取得                      06 必要時に勤務を交替してくれる人員の確保  
07 有給休暇の取得促進                      08 他職種との分担による業務負担軽減  
09 時間外業務の縮減                      10 短時間勤務の推進

第1位の番号

第2位の番号

第3位の番号

☆ 介護の状況についてお伺いします。

問17 これまで在宅での介護の経験はありますか？

- 01 経験がある (⇒ 問18～問21へ)                      02 経験がない (⇒ 問24へ)

〔◎問17で「01 経験がある」と回答された方は、問18～問21にお答えください。〕  
〔◎問17で「02 経験がない」と回答された方は、次頁の問24にお進みください。〕

問18 介護を最も中心的に行った（行っている）方をお答えください。（※）直近の在宅介護経験についてお答えください。

- 01 自分                      02 配偶者又はパートナー                      03 親族                      04 その他

問19 介護中（介護休業中を除く）の実際の働き方はどうでしたか（どうされていますか）？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 介護前と変化なし                      02 時間短縮勤務（1日\_\_\_\_\_時間程度勤務）  
03 勤務日数減（週\_\_\_\_\_日勤務）                      04 業務内容軽減  
05 研究生・大学院生                      06 休職・離職

問20 介護中（介護休業中を除く）にあなたが希望した（する）働き方はどのようなものでしたか（ですか）？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 介護前と変化なし                      02 時間短縮勤務（1日\_\_\_\_\_時間程度勤務）  
03 勤務日数減（週\_\_\_\_\_日勤務）                      04 業務内容軽減  
05 研究生・大学院生                      06 休職・離職

問21 介護休業を取得しましたか？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 自分が取得した                      (⇒ 問24へ)                      02 配偶者又はパートナーが取得した                      (⇒ 問24へ)  
03 取得せずに勤務継続した                      (⇒ 問24へ)  
04 取得せずに自分が離職した (⇒ 問22へ)                      05 取得せずに配偶者又はパートナーが離職した (⇒ 問22へ)

〔◎問21で「04 取得せずに自分が離職した」又は「05 取得せずに配偶者が離職した」と回答された方は、問22にお答えください。〕  
〔◎上記以外の方は、次頁の問24にお進みください。〕

問22 勤務の継続を希望されていましたか？

- 01 希望していた (⇒ 問23へ)                      02 希望していなかった (⇒ 問24へ)

問23 どのような取り組みがあれば、離職せずに勤務を継続できる、あるいは勤務を継続できたと思いますか？ 最も有効と思われる取り組みを、次の【選択肢】より1位から3位までお答え下さい。

**選択肢**

- 01 院内介護施設の設置・充実                      02 ヘルパー費用の所得控除  
03 介護休業給付金の増額                      04 給与の増加  
05 介護休業の取得                      06 必要時に勤務を交替してくれる人員の確保  
07 有給休暇の取得促進                      08 他職種との分担による業務負担軽減  
09 時間外業務の縮減                      10 短時間勤務の推進

第1位の番号

第2位の番号

第3位の番号

☆ 実際の勤務の状況について記録をお願いいたします。

問24 11月15日(木)～11月21日(水)の労働時間について、下記の注意事項・用語の定義・記入例を参考に、次頁の表に記入してください。  
 11月21日(水)については、問25・問26に関連した設問がありますので、予めご確認ください。

**注意事項**

- ・主たる勤務先だけでなく、その他の勤務先の労働時間についても併せて記入ください。
- ・「勤務日」「休日」のうち、該当するもの一つに○を付けてください。
- ・労働時間は30分単位で記入してください。30分に満たない場合は、その30分で最も多くの時間を費やした領域を選んで記入してください。
- ・「院内診療」には、(外勤先があればそれも含めて)外来診療、入院診療に従事した時間を矢印で記入してください。ケースカンファレンス等の診療に関する打ち合わせも含んで下さい。
- ・「訪問診療」には、院外での在宅歯科診療や高齢者施設での歯科診療に従事(準備及び移動を含む)時間を矢印で記入してください。
- ・「教育」には、研修歯科医等の他の歯科医師、歯科衛生士や事務職員等の他職種への教育やその準備に費やした時間を矢印で記入して下さい。なお、研修歯科医にご自身の診療を見学させていた場合は、「教育」ではなく、「院内診療」もしくは「訪問診療」に、その時間を矢印で記入して下さい。
- ・「研究・自己研修」には、実験や調査、論文執筆等に費やした時間や、学習(例：歯学雑誌や歯学書・eラーニング等に目を通す)や研修(例：スタディグループや講習会・講演会・説明会等への参加)のために費やした時間を矢印で記入して下さい。また、研究に伴う事務作業やカンファレンスの時間も「研究・自己研修」の時間と考えて下さい。
- ・「会議・管理業務等」には、院内での会議や管理業務(診察に直接関係のない会議や委員会への参加、経営・人事に関する業務)ならびに院外(歯科医師会・行政等での会議等)に費やした時間を矢印でご記入下さい。

《用語の定義》

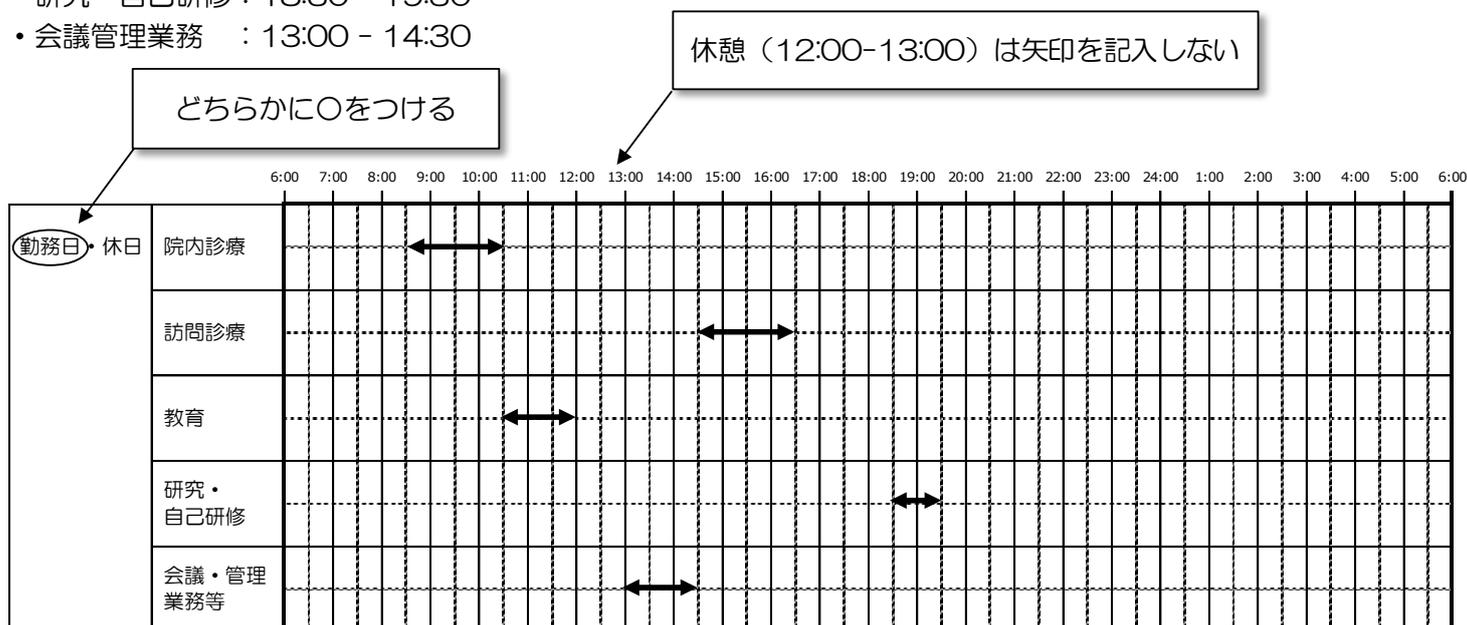
**休日** 一日を通して通常の勤務が課せられていない日。

**休憩** 業務を行わず、食事や休養等に費やした時間で、診療・診療外のいずれにも含めない。

《記入例》

◎調査日が「勤務日」の場合

- ・院内診療 : 08:30 - 10:30
- ・訪問診療 : 14:30 - 16:30 (※) 訪問診療には、その準備時間と移動時間も含まれます。
- ・教育 : 10:30 - 12:00
- ・研究・自己研修 : 18:30 - 19:30
- ・会議管理業務 : 13:00 - 14:30



# 11月15日 (木)

6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00

勤務日・休日	院内診療																								
	訪問診療																								
	教育																								
	研究・自己研修																								
	会議・管理業務等																								

# 11月16日 (金)

6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00

勤務日・休日	院内診療																								
	訪問診療																								
	教育																								
	研究・自己研修																								
	会議・管理業務等																								

# 11月17日 (土)

6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00

勤務日・休日	院内診療																								
	訪問診療																								
	教育																								
	研究・自己研修																								
	会議・管理業務等																								

# 11月18日 (日)

6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00

勤務日・休日	院内診療																								
	訪問診療																								
	教育																								
	研究・自己研修																								
	会議・管理業務等																								

# 11月19日 (月)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

# 11月20日 (火)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

# 11月21日 (水)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

◎問25・問26は11月21日（水）が勤務日だった方にお伺いします。勤務日ではなかった方は問27にお進みください。

問25 次の①～④の院内各業務のうち、（1）11月21日（水）の1日に各業務に費やした時間と、（2）現在自分で行っている業務量を100%としたときに他職種（歯科衛生士や事務職員等の他職種）に分担可能と考える割合についてお答えください。

	(1) 11/21（水）に費やした時間	(2) 他職種に分担可能と考える割合
① 患者・家族への説明	%	%
② 予防処置・歯科保健指導	%	%
③ 医療記録（診療録の記載等）	%	%
④ 医療事務（診療情報提供書等の作成、レセコンの入力等）	%	%

問26 11月21日（水）に担当した患者数について、お答えください。

歯科外来担当患者数	人
（うち）医科からの紹介もしくは医科への紹介を行い治療した患者数	人
歯科訪問診療担当患者数	人

問27 現在の働き方を基準として、今後、どのような働き方を希望しますか？1週間当たりの勤務日数の増減についての希望をお答えください。

プラス（増加）、現状維持、マイナス（減少）のいずれかに○をつけて下さい。また、勤務日数の増加もしくは減少を希望される場合は、その希望日数を併せてご記入下さい。

01 プラス_____日程度	02 現状維持	03 マイナス_____日程度
----------------	---------	-----------------

◎ 最後に、歯科医師の働き方についてのご意見をご自由にご記入ください。

設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

添付の封筒にて密封し、11月28日（水）までに職場の取りまとめ者までご提出ください

# 歯科医師の勤務実態等に関する調査

## 医療施設調査票（歯科診療所用）

厚生労働科学特別研究事業

厚生労働省医政局

2018年11月

### <ご回答される管理者の先生方>

○厚生労働省においては、新しい時代にふさわしい歯科保健医療供給体制の構築を目指し、歯科保健医療のあり方や地域連携・病診連携の現状ならびに現在の歯科医師の勤務実態・キャリア意識等を把握するために、本調査を行うこととなりました。

本調査の分析結果は、今後の歯科医療を推進するための歯科医師の働き方を検討するための基礎資料となります。未来の歯科医療をより良いものにするため、ご協力くださいますようお願い致します。

○本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。

### <記入にあたっての注意事項>

○本調査票は管理者がご記入下さい。

○ご回答は、当てはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入ください。

○ご記入は鉛筆または黒・青のボールペンでお願いします。

○本調査票は、貴施設の歯科医師票とともに、同封の返信用封筒に入れて、11月30日（金）までに投函してください。

### <お問い合わせ先>

厚生労働科学特別研究事業「歯科医師の勤務実態等の調査研究班」 事務局

電話番号：0120-225137（受付時間：平日 9：00-17：00、12月14日（金）まで）

◎説明文書（調査へのご協力をお願い）の内容をご確認いただき、下記の□に✓を記入したうえで回答を行ってください。 （確認欄）  説明文書の内容を確認しました

**問1 貴施設の情報についてお答えください。**

① 貴施設の郵便番号	〒 <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse; text-align: center; width: 150px; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <small>(※) 2次医療圏把握のため、上5桁のみをご記入下さい</small>												
② 貴施設の開設主体 <small>(※) 04の場合、[ ]内にも○をつけてください。</small>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">01 個人</td> <td style="width: 50%;">02 医療法人</td> </tr> <tr> <td>03 国</td> <td>04 公的医療機関⇒ [ ア 都道府県 イ 市町村 ]</td> </tr> <tr> <td>05 社会保険関係団体</td> <td>06 公益法人</td> </tr> <tr> <td>07 学校法人</td> <td>08 社会福祉法人</td> </tr> <tr> <td>09 医療生協</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 株式会社</td> <td>11 その他 ( )</td> </tr> </table>	01 個人	02 医療法人	03 国	04 公的医療機関⇒ [ ア 都道府県 イ 市町村 ]	05 社会保険関係団体	06 公益法人	07 学校法人	08 社会福祉法人	09 医療生協		10 株式会社	11 その他 ( )
01 個人	02 医療法人												
03 国	04 公的医療機関⇒ [ ア 都道府県 イ 市町村 ]												
05 社会保険関係団体	06 公益法人												
07 学校法人	08 社会福祉法人												
09 医療生協													
10 株式会社	11 その他 ( )												
③ 歯科医師臨床研修施設の指定 <small>(※) 平成30年11月時点</small>	01 ある                      02 ない												
④ 在宅療養支援歯科診療所の届出 <small>(※) 平成30年11月時点</small>	01 ある                      02 ない												
⑤ かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の届出 <small>(※) 平成30年11月時点</small>	01 ある                      02 ない												
⑥ 周術期口腔機能管理の実施経験	01 ある                      02 ない												
⑦ 貴施設の歯科診療台数	歯科診療台数 ( ) 台												
⑧ 貴施設の患者数 <small>(※) 平成30年10月の1か月の延べ人数でお答えください。</small>	患者数 延べ ( ) 人 (うち) 時間外 延べ ( ) 人												

**問2 貴施設に従事する歯科医師及び関連職種についてお答えください（平成30年11月1日現在）。**

① 貴施設の歯科医師数 <small>(常勤・非常勤・臨床研修歯科医) (※) 管理者も含めてご記入ください。 (※) いない場合は「0」人とお答えください。</small>		常勤 (実人員)	非常勤 (実人員)	非常勤 (常勤換算)	臨床研修歯科医 (実人員)	
	男性歯科医師	人	人	人	人	
	女性歯科医師	人	人	人	人	
<small>(※) 雇用形態に関わらず、貴施設が定める1週間の勤務時間（所定労働時間）の全てを勤務している場合は「常勤」、勤務していない場合は「非常勤」としてお答えください。  <small>(※) 非常勤歯科医師の常勤換算の算出については、非常勤歯科医師の1週間の勤務延べ時間数（残業は除く）を、貴施設において常勤の歯科医師が勤務すべき1週間の時間数（所定労働時間）で割り、小数点以下第2位を四捨五入してください。</small> </small>						
② 非常勤の歯科医師の勤務先 <small>(※) 該当するもの全てに○</small>	01 大学・大学病院    02 大学病院以外の病院    03 他の歯科診療所 04 その他                      05 貴施設以外なし					
③ 採用・離職した歯科医師数 <small>(※) 平成29年4月～平成30年3月の1年間の数をお答えください。 (※) いない場合は「0」人とお答えください。</small>	採用者数	男性		女性		
		常勤歯科医師	人	人	人	人
	離職者数	非常勤歯科医師	人	人	人	人
		(うち) 定年退職者	人	人	人	人
④ スタッフ数（常勤換算） <small>(※) いない場合は「0」人とお答えください。</small>	看護職員		歯科衛生士		歯科技工士	
	言語聴覚士		管理栄養士		その他	
<small>(※) 非常勤職員の常勤換算の算出については、非常勤歯科医師の1週間の勤務延べ時間数（残業は除く）を、貴施設において常勤の歯科医師が勤務すべき1週間の時間数（所定労働時間）で割り、小数点以下第2位を四捨五入してください。</small>						

問3 貴施設において、現在実施されている歯科医師が仕事と家庭生活とを両立しながら働き続けるための取り組みについて全てお答えください。

- |                                     |                    |
|-------------------------------------|--------------------|
| 01 完全休日の設定                          | 02 勤務時間インターバル制度の導入 |
| 03 有給休暇の取得促進                        | 04 時間外業務の縮減        |
| 05 育児・介護休業の取得や短時間勤務等が昇給・昇進に影響しない仕組み |                    |
| 06 必要時に勤務を交替してくれる人員の確保              | 07 短時間勤務の推進        |
| 08 その他（ ）                           | 09 特になし            |

問4 貴施設には歯科医師が利用できる保育所または託児所がありますか？

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 01 ある（⇒ 問5・問6へ） | 02 ない（⇒ 問6へ） |
|-----------------|--------------|

- 〔 ◎ 問4で「01 ある」と回答された施設は問5及び問6にお答えください。  
◎ 問4で「02 ない」と回答された施設は問6をお答えください。 〕

問5 貴施設の保育所または託児所の平日の保育時間をお答えください。（時刻は24時間制でご記入ください。）

<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	分	～	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	分
----------------------	---	----------------------	---	---	----------------------	---	----------------------	---

（※）曜日によって保育時間帯が異なる場合は、最も長い保育実施曜日の時間帯を記入してください。

問6 貴施設において、平成29年4月～平成30年3月の1年間に、以下の表のそれぞれの休業・勤務形態を取得・実施した歯科医師の人数をお答えください。（※）いない場合は「0」人とお答えください。

	男性歯科医師	女性歯科医師
産前・産後休業を取得		人
育児休業を取得	人	人
介護休業を取得	人	人
短時間勤務を実施	人	人

問7 歯科医師の確保・定着に関する以下の取組のうち、貴施設で実施しているものを全てお答えください。

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 01 大学医局との連携         | 02 常勤歯科医師の公募採用   |
| 03 施設外での技術研修・留学等の支援 | 04 幹部職員としての採用    |
| 05 給与の増額            | 06 職員用住居の整備      |
| 07 退職後の再就業の推進       | 08 人材派遣会社を活用した募集 |
| 09 その他（ ）           | 10 特になし          |

問8 貴施設において歯科地域医療への貢献の観点から、実施されていることがありましたら、全てお答えください。

- |                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 01 患者・住民向けの講演会              | 02 自治体の健診等の受け入れ |
| 03 医療・介護職向けの講演会             | 04 地域ケア会議等の出席   |
| 05 訪問歯科診療                   | 06 介護認定審査会の出席   |
| 07 健診・予防活動への歯科医師の派遣（学校歯科含む） |                 |
| 08 その他（ ）                   | 09 特になし         |

問9 歯科医師の勤務管理にタイムカード(もしくは、それに準じるソフトウェア)を使用されていますか?

01 既に使用している  
03 導入する予定はない

02 現在は使用していないが、近々導入予定である

問10 貴施設では、歯科医師の時間外労働に係る労働基準法の36(サブロク)協定を締結していますか?

01 締結している(⇒問10-1へ)  
03 該当しないため、締結の予定はない  
05 その他( )

02 現在は締結していないが、近々締結予定である  
04 36協定についてよく知らない

(※) 36協定：労働基準法36条に基づき、時間外または休日の労働等について、労使間で締結する協定書のことです。法定労働時間を超える時間外労働を命じる場合、労働組合、(労働組合がない場合は労働者の過半数を代表する者)との間で書面による協定を結び、労働基準監督署に届け出ることが義務づけられています。

詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください ⇒ [https://www.startup-roudou.mhlw.go.jp/36\\_pact.html](https://www.startup-roudou.mhlw.go.jp/36_pact.html)

▶問10-1 貴施設では、労働基準法の36協定の特別条項での勤務時間延長を設定されていますか?

01 設定している  
03 該当しないため、設定予定はない

02 現在は設定していないが、近々設定予定である  
04 その他( )

◎ 最後に、歯科医師の働き方についてのご意見をご自由にご記入ください。

設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、回収した歯科医師票とともに11月30日(金)までに投函してください。